



令和 7 年(2025 年)6 月 9 日(月)
広島市安佐動物公園 管理課長:田村
担当:企画広報係 梅田、田邊 ☎082-838-1111

チンパンジーの搬出について

安佐動物公園では、令和 7 年(2025 年)6 月 24 日(火)にチンパンジーの雌 1 頭を多摩動物公園へ搬出します。今回搬出する個体ナナ(26 歳)は、平成 10 年(1998 年)に世界で初めて、死亡した雄から採取した精子を使い、人工授精に成功し、誕生した個体です。国内の動物園で飼育されているチンパンジーとの間に血縁がなく、国内のチンパンジーの遺伝的多様性を維持する上で非常に重要な個体です。移動後は多摩動物公園で繁殖を目指す予定です。

1 動物の搬出について

(1) 搬出個体

ナナ 雌 平成 10 年(1998 年)7 月 24 日 安佐動物公園生

(2) 搬出日程

6 月 24 日(火)

9 時頃 麻酔をかけて輸送箱に収容

16 時 30 分頃 個体が麻酔から覚醒したことを確認し
輸送車に積み込み、搬出

※搬出時刻は作業の状況や個体の体調により前後します。

6 月 25 日(水)

午前中 多摩動物公園に到着予定



今回搬出する個体(ナナ)

2 取材について

- ・個体の撮影は搬出日の前日までに、園路からの撮影に限らせていただきます。搬出日当日の個体の撮影はできません。
- ・個体を輸送箱に収容する作業の様子は撮影できませんが、当園で撮影した映像は提供いたします。(映像の提供については事前にご相談ください。)
- ・個体が入った輸送箱を車両に積み込む様子と、動物園から搬出する様子は撮影可能です。ただし、輸送箱は鉄板等で覆われているため、中の個体を撮影することはできません。

3 搬出個体のナナについて

今回搬出する個体ナナは、死亡した雄(フレッド)から採取した精子を凍結保存し、雌(ナオコ)へ人工授精したことで平成 10 年(1998 年)に誕生した個体です。残念ながらナオコは出産した 5 日後に死亡したため、職員の手による人工哺育で育ちました。他個体とのコミュニケーションが苦手な面がありましたが、長期に渡るケアの結果、現在は群れの中でも落ち着いて過ごせるようになりました。

※チンパンジー

霊長目ヒト科。生息地の破壊、密猟、内戦による混乱や感染症によって生息数が減少している。IUCN(国際自然保護連合)レッドリストでは、EN(危機:野生で非常に高い絶滅のリスクに直面している)カテゴリーに指定されている。

開園時間 午前 9 時から午後 4 時 30 分まで (ただし、入園は午後 4 時まで)

入園料 大人 510 円、65 歳以上・小人(高校生及び高校生相当年齢) 170 円 ※中学生以下無料
※65 歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日 (ただし、祝日の場合は開園)